

“自分や家族を守るため” 知っておきたい特殊詐欺の主な手口と対策

還付金詐欺

ATMで保険料の還付金が受け取れます。

自治体、税務署などの職員を名乗り、医療費や保険料の過払い金など、お金を受け取れるとの内容の電話がかかってきます。指示どおりにATMを操作すると、実際は犯人の口座にお金が振り込まれる詐欺です。

キャッシュカード詐欺盗

あなたのキャッシュカードが犯罪に利用されています。

警察官などを名乗り「キャッシュカード(銀行口座)が犯罪に利用されている」などの名目でその手続きを説明し、キャッシュカードをすり替えるなどして盗み取る詐欺です。

要注意！警察官かたり

〇〇警察署の×××です。あなたの銀行口座が犯罪に利用されています。詳細はビデオ電話で話しましょう。

実在の警察官を名乗り、「あなたの銀行口座が犯罪に利用されており、あなたに逮捕状が出ています」などと言い逮捕を名目に口座情報などを聞き出す、ネットバンキングで送金させるといった詐欺です。携帯電話にかかってくるものが多く、10～50歳代の被害も増加しています。

■ 固定電話での対策

● 在宅時も留守番電話に

特殊詐欺は誰でもだまされる可能性があることから、電話の相手方が特定できるまで電話に出ないようにしましょう。

● 振り込め詐欺等対策電話の設置

市では、電話が鳴る前に警告メッセージなどを自動で発出し、通話を録音する機能などを備えた電話機や接続機器の購入に対し、補助金を交付しています。

図協働推進課 ☎049-252-7121



■ 携帯電話などでの対策

● 非通知番号・国際電話は着信拒否

特殊詐欺の犯人がよく使う非通知番号や国際電話からの電話に出ないようにしましょう。

● 犯罪情報官Newsで情報入手と対策を

埼玉県警察では、県内の犯罪発生情報をいち早く提供するメール配信サービスを提供していますので、犯罪情報の入手と対策にお役立てください。



■ 警察相談専用電話(#9110または☎048-822-9110)

「もしかして詐欺かも…」 「110番するような緊急性はないけれど警察に相談したい」 など、生活の安全に関わる悩みごとや困りごとなどで、緊急でない相談の場合は、警察相談専用電話をご利用ください。

オレオレ詐欺

会社のお金が入ったカバンを落とした。

親族、警察官などを名乗り、親族が起こした事件・事故に対する示談金などを名目に金銭などをだまし取る詐欺です。犯人は「風邪をひいて声が変わった」などと言い信用させた後、振り込みを求めてきます。

預貯金詐欺

医療費の払い戻しがあり、振り込みのためキャッシュカードの変更が必要です。

自治体、税務署などの職員を名乗り、医療費などの払い戻しがあるとして、キャッシュカードの確認や取り換えの必要があるなどの口実で自宅を訪れ、キャッシュカードをだまし取る詐欺です。

■ 警察官かたりを見破るポイント

● 警察官からのビデオ電話

警察官が、SNSやビデオ電話で連絡を取り、警察手帳や逮捕状を提示・送信することはありません。

また、電話番号の下4桁が「0110」であっても、国際電話(+から始まる番号)などからかけているケースがあるため注意が必要です。

—会社のお金が入ったカバンを落としちゃって。
今日中にお金が必要なんだけど、何とかならない？

—医療費の払い戻しがあります。振り込みのためには
今お使いのキャッシュカードの変更が必要です。

その電話、詐欺です。

—特殊詐欺グループを捜査しているのですが、
あなたの銀行口座が犯罪に利用されています。

「その電話、本当ですか？」 特集 今日から始める特殊詐欺対策

図 協働推進課 ☎049-252-7121

被害は1本の電話から

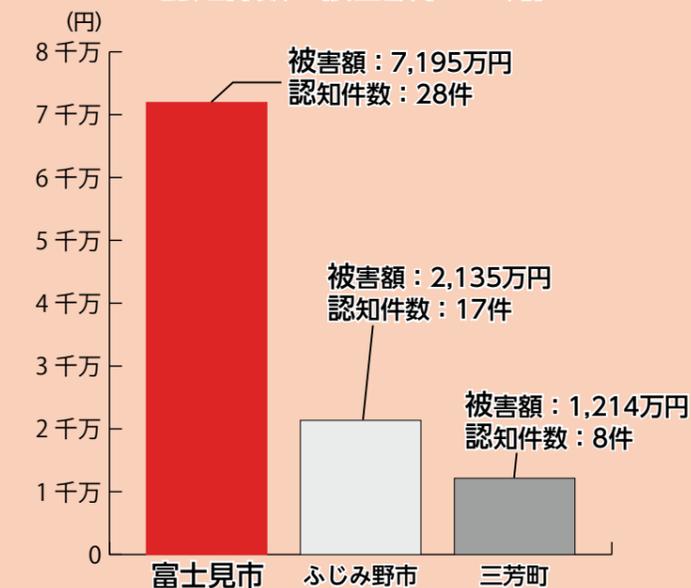
特殊詐欺とは、犯人が電話やほかなどを使って親族や公共機関の職員などを名乗り被害者を信じ込ませ、現金やキャッシュカードをだまし取ったり、ATMを操作させ、犯人の口座に送金させる犯罪のことで、犯人の手法は巧妙で、電話に出ると誰でもだまされる可能性があることから、「自分はまだまされるはずがない」、「うちの親は大丈夫だ」などといった先入観は捨て、普段から家族や身近な人に相談できる環境づくりが大切です。また、多様化する特殊詐欺の手口を知り、今日からできる対策を日常生活に取り入れることで被害を防ぎましょう。

市内で多発しています

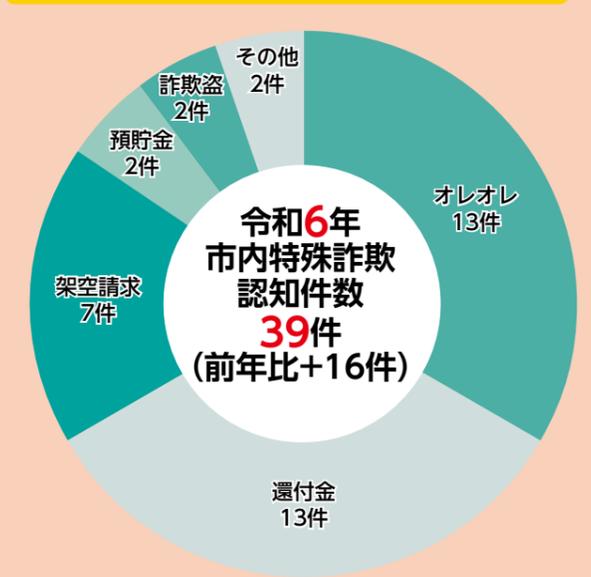
令和6年の市内特殊詐欺認知件数は39件で、前年と比べると16件も増加しています。また、同年の被害額は2億9,139万円にのぼり、前年の3,285万円から大幅に増加しています。

令和7年1～5月における東入間警察署管内の特殊詐欺認知件数と被害額は、市内の被害が最も多いことから、引き続き特殊詐欺への注意が必要です。

令和7年東入間警察署管内特殊詐欺認知件数と被害額(1～5月)



令和6年被害額：2億9,139万円





東入間警察署長

手口を知ることが被害を防ぐ第一歩に

——特殊詐欺の存在を知らながら被害に遭うのはなぜか

市内では窃盗や詐欺といった刑法犯の認知件数が令和7年5月末時点で389件(暫定値)に上り、前年の同じ時期に比べ124件も増加している状況ですが、被害が特に増加しているのが特殊詐欺です。市内ではオレオレ詐欺、次いで還付金詐欺による被害が多く、令和7年5月末時点で28件(暫定値)発生しており、前年の同じ時期に比べ21件も増加しています。犯人の術が巧妙化しており、被害者を冷静な判断ができない状況に陥れることで、指示どおりにお金を振り込んでしまうといった被害につながっている

ることから、相手が分かるまで電話に出ないよう留守番電話に設定する、家族はもちろん同じ地域にお住まいの方々に声をかけ合うことを心がけ被害を防ぎましょう。

——若者も被害に遭う「警察官かたり」の手口とは

特殊詐欺と聞くと、オレオレ詐欺や還付金詐欺を想像するかと思いますが、また、こうした特殊詐欺の被害者は多くが高齢者であるとの認識をお持ちの方も多いいのではないのでしょうか。しかし、最近では20〜30歳代の若い人にも被害が広がっており、中でも警察官を装った「警察官かたり」の特殊詐欺による被害が増加しています。「警察官かたり」の特殊詐欺では、実在の警察官を名乗る犯人から「ある詐欺事件であなかに犯人の疑いがかかっているため、銀行口座を確認する」などといった電話がスマートフォンにあり、テレビ電話で偽物の警察手帳や逮捕状を見せることで信用させ、「逮捕されないためにはお金が必要」などと言いつつネットバンキングに送金させるといった手口が使われます。このように特殊詐欺の犯人は時代に合わせた手口を日々研究していると考えられますが、まずはその手口を知ることが被害を防ぐ第一歩になります。

——特殊詐欺だけじゃない、市民にとって身近な犯罪とは

特殊詐欺に加え、市内全域で発生しているのが侵入盗、いわゆる泥棒です。令和7年5月末時点で40件(暫定値)発生しており、前年の同じ時期に比べ29件も増加しています。空き家や空き家に見える家が被害に遭いやすく、特に注意が必要なのが空き家に見える家での被害です。家にいる時、侵入してきた犯人と鉢合わせた状況では、最悪の場合、住人の命に関わることもあります。

主な対策としては、庭の雑草除去など、犯人に空き家だと思わせないようにすることです。また、来訪者は必ずインターフォンを確認し、安易に玄関ドアを開けないようにしましょう。外出時に犯人から狙われないために、部屋の明かりをつけて外出するのも有効です。犯人は侵入に時間がか

かることを嫌がるため、ガラスフィルムの貼り付けやクレセント錠(窓の鍵)カバーの取り付けも効果的です。

地域のつながりが被害を防ぐことにつながる

今年に入り、管内にお住まいの皆さんの協力で特殊詐欺の被害を防げたケースも多々あります。被害者は自分がだまされていることに気づいていないため、家族や近所の人といった周りの人の声かけ、関心が被害の防止につながります。過去には管内で、玄関先で住人と若い男性が話すところを見かけた近所の人が高齢者に思い、警察に通報したことで現金を奪って現場から逃走する犯人を逮捕できたケースもあります。おかしいなと思ったら警察に通報する、声をかける勇気を持つてほしいと思います。

特殊詐欺の手口を知ること、地域内でのあいさつや防犯の視点を持って日常生活を送る「ながら防犯」の実践が不審者の排除につながり、自分や周りの人を守ることもつながります。特殊詐欺や侵入盗などの被害を1件でも減らすため、今後も取り締まりをより一層強化してまいりますので、引き続き、管内にお住まいの皆さんのご協力をお願いします。

